

## 外貨投資の視点 (No.296)

リサーチ部 チーフ為替ストラテジスト 植野 大作

2016年9月20日

### 9.21日米金融政策「ダブル・ヘッダー」の直前展望

ポイント

- 21日の日銀会合で複雑な政策パックが公表された場合、市場の評価が固まる前に米金融政策の結果待ちに移行
- 続く米FOMCでは、利上げ再開観測の当否に関わらず、ドル円相場の初期反応と二次反応が入れ替わる可能性も
- 翌22日は「秋分の日」で円絡みの為替取引が通常より薄くなり、チョットした需給のエアで相場が過敏に動きやすい
- 日米双方の政策次第で複雑に枝分かれするシナリオ・ツリーの末端に至るまで、市場反応を読み切るのは至難
- 市場の評価が落ち着くまでは「観るも相場」を心掛け、月末の定点観測レポートで為替見直し修正の要否を検討

明日21日(水)は日米金融政策の結果発表が相次ぐダブル・ヘッダーに

世界中のマーケット関係者が注目している日米両国の金融政策の結果がいよいよ明らかになる。明日21日(水)のお昼前後には、まず先に日銀金融政策決定会合の結果が分かり、その後約9時間程度が経過した深夜27:00には米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果も判明する。日米金融政策の「同日ダブル・ヘッダー」など、滅多に体験することのできないイベントだ。それぞれの発表時刻に向けたカウント・ダウンが進む中、市場の緊張感は否が応にも高まっている。足下のドル円相場は流石に様子見モードに入って膠着気味だが、模様眺めの時間帯に特有のリラックス感は全くない。俗に言う「嵐の前の静けさ」という雰囲気だ。以下、直前のプレビューを試みたい。

先に結果が分かるのは日銀会合だが、有力視されている「政策マイナス金利深掘り」のほか、具体的な施策に関する市場の思惑が激しく錯綜

まず先に結果が分かる日銀会合については、日本の主要各紙が14日(木)の朝刊でほぼ一斉に報じた観測記事により、「政策マイナス金利の深掘り」を軸に追加策が検討されていることは間違いなさそうだ。だが、それだけを単独で実施すると、銀行収益の圧迫や年金・生保の運用難などの副作用がきつくなるため、「利回り曲線のツイスト・スティープ化を狙った国債購入の柔軟化」、「貸出マイナス金利の導入」、「長期金利目標の設定」、「社債購入枠の拡大や購入満期の延伸」、「地方債、財投機関債などの購入開始」、「既存・新規の施策を合わせた量的緩和速度の引上げ」、「物価目標2%のお題目化」、「オープンエンドの時間軸政策の見直し」など、様々な憶測が錯綜している。

各種媒体による観測報道の真贋見極めに腐心

各種媒体が競って伝える観測報道のうち、どの内容が「マーケットの期待の地均し」を狙った日銀執行部による意図的なリークによるものなのか、一部の関係筋による少数意見や希望的観測の羅列なのか、よく分からないのが悩ましい。「金融政策決定会合の目筋まで導入の可能性や必要性を否定していた追加緩和策を唐突に発表して市場を驚かせる」という「サプライズ演出型」のコミュニケーション戦略は軌道修正されたようだが、だからと言って事前に具体的施策の内容がまる分かるになる訳でもない。「政策マイナス金利の深掘り」を軸に組み合わされる施策の全貌が明らかになるまで、マーケットの疑心暗鬼が晴れることはないだろう。

本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

日銀の追加策が金融緩和の拡充策と見直し策の組み合わせになった場合、ドル円相場は乱高下、「市場の評価」が固まる前に「米FOMCの結果待ちモード」に移行か

結果的に、日銀が明日の正午前後にどのような組み合わせの政策パッケージを公表した場合でも、衆目が一致するほど明らかな緩和縮小や緩和拡大に偏った内容でない限り、「この組み合わせなら円高だ」と解釈するプレイヤーと、「いや円安だ」と解釈するプレイヤーの熱い想いのこもった為替売買玉が刹那に激突、その他のマーケット参加者による損益管理の既存注文や新規注文なども入り乱れ、ドル円相場のティックは乱高下する可能性がある。金融緩和の追加・修正策の組み合わせが複雑になればなるほど、市場の評価が定まるのには時間がかかりそうだが、マーケットを飛び交う空中戦トークが決着する前に東京市場では日が西に傾き始めるだろう。日銀会合に対する市場評価は恐らく「生煮え状態」のまま、市場関係者の注目は同日深夜に結果が分かる米FOMCにシフト、当日2度目の緊張感に満ちた様子見モードに移行し始めるのではなかろうか。

米FOMCで利上げ再開ならドル高・円安、見送りならドル安・円高の初期反応を呼びそうだが・・・

そこで明晩の米FOMCの結果に関する現時点での現地エコノミストによる直前予想の分布をみると、配信元によって微妙な違いはあるものの、例えばブルームバーグ社の集計では97名中4名だけが0.25%ポイントの利上げを予想しており、「利上げ派」が概ね1割未満、「据え置き派」が同9割超に達している。フェデラルファンド（FF）金利先物などから推定される今月FOMCでの政策金利の織り込み確率をみても、現時点では約80%が現状維持、約20%が0.25%ポイントの利上げとなっており、政策金利の据え置きを予想する向きがかなり優勢だ。とはいえ、このタイミングでの米利上げ再開を予想する向きが皆無という訳ではなく、それなりに意見は分かれている。このため、明晩の米FOMCで利上げが再開されればドル高・円安、見送りならドル安・円高の初期反応を呼ぶだろう。

その後のイエレン議長会見の内容なども踏まえた国内外での株価の反応次第でドル円相場の初期反応と二次反応が入れ替わる可能性も

ただ、最近では米金融政策の結果に対するドル円相場の初期反応と二次反応が、その後の株価の反応次第で逆向きに入れ替わるケースも結構多い。「利上げ再開」の一報に接した直後はドル高で反応しても、それを嫌気して米国内外で株価が下げれば市場のムードが「リスクオフの円高」に一変する可能性がある一方、「利上げ見送り」のヘッドラインを受けてドル安・円高気味のイニシャル・リアクションが喚起されても、株価がそれを好感して上昇すれば、ある程度の時間差を伴ってドル円相場が切り返してくる可能性は十分にある。利上げの有無と同時に公表される「ドット・チャート」の形状変化やその後に始まるイエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長の会見内容によっても、米国債利回りや米国株価がどちらかに動き、ドル円相場の方向感に大きな影響が及ぶ可能性がある。

日米双方で枝分かれする政策の組み合わせが複雑過ぎて、市場反応の事前読みに完璧を期するのは不可能に近い

このため、明日の正午前後から先の外国為替市場では、日米両国の金融政策の決定・公表内容に対する国内外のマーケット関係者の評価がしばらくの間ゴチャ混ぜの状態になるかもしれない。来週の日銀会合では、恐らく何らかの政策パッケージの採否が議論されるはずだが、市場の一部では「米FOMCによる後出しジャンケン」の餌食になるリスクを避けるため、今回は追加策の発表を見送るのが無難、との意見も無い訳ではない。その場合、「何らかの政策変更の可能性」を想定していた殆どのマーケット関係者が強烈な肩透かしを食らって土俵の外に転落、日銀の「次の一手」を巡る詮索合戦は、延長戦への突入を余儀なくされるかもしれない。要するに、明日の日米金融政策発表イベントについては、双方で多岐に枝分かれしている政策オプションや市場反応の組み合わせが複雑過ぎて、「シナリオ・ツリー」の全ての末端に至るまで、ドル円相場の反応を完璧に読み切るのは不可能に近い。

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

日米金融政策の発表翌日は日本市場が祝日で為替取引が薄くなりやすい

加えて、今回の日米金融政策発表イベントは、「神様の悪戯」かと思わせるぐらい、カレンダーの巡り合わせが特殊になっている。日米金融政策の発表イベントが終了した翌22日(木)は、日本が「秋分の日」のお彼岸入りで円絡みの為替取引がかなり薄くなりやすいからだ。ここで改めて今年早春以降のドル円相場のプライス・アクションを振り返ってみると、2月11日(木)の「建国記念日」、4月29日(金)の「昭和の日」、5月3日(火)の「憲法記念日」などの祝日のほか、8月16日(火)の「旧盆の送り日」など、日本円絡みの為替売買取引が通常よりも薄くなりやすいタイミングで、いわゆる「材料砂漠」の時間帯をまるで狙ったかのような短期主導の仕掛け売買が炸裂、ドル円相場が思わぬ急変動に巻き込まれたケースが少なくなかった。このため、22日(木・祝)には休日出勤を予定している官民の市場関係者も少なくないとみられるほか、自宅や外出先でのスマホやタブレットでの相場チェックも怠れない雰囲気蔓延するだろう。

ひとまずは「観るも相場」に徹した上で、為替見通し変更の要否を検討

いずれにしろ、明日の日米金融政策「ダブル・ヘッダー」に関しては、まずは虚心坦懐に国内外の株式、債券、為替市場の反応を「よく観る」ところから始めるしかない。少なくとも、日本の祝日が明けた23日(金)にニューヨーク市場で「週末の着地点」が決まる辺りまでは、拙速な判断を避けた方が無難なのではなかろうか。今回については、ひとまず「観るも相場」を心掛け、これまで我々が提示してきた為替相場見通し変更の要否を判断したいと考えている。我々の債券市場分析チームの評価や見解も踏まえた上で、月末30日(金)には定点観測レポートを発行する予定である。

(9月20日 8:15)

## Appendix A

### アナリストによる証明

本レポート表紙に記載されたアナリストは、本レポートで述べられている内容(複数のアナリストが関与している場合は、それぞれのアナリストが本レポートにおいて分析している銘柄にかかる内容)が、分析対象銘柄の発行企業及びその証券に関するアナリスト個人の見解を正確に反映したものであることをここに証明いたします。また、当該アナリストは、過去・現在・将来にわたり、本レポート内で特定の判断もしくは見解を表明する見返りとして、直接又は間接的に報酬を一切受領しておらず、受領する予定もないことをここに証明いたします。

### 開示事項

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(以下「MUMSS」)は、MUMSSのリサーチ部門・他部門間の活動及び/又は情報の伝達、並びにリサーチレポート作成に関与する社員の通信・個人証券口座を監視するための適切な基本方針と手順等、組織上・管理上の制度を整備しています。

MUMSSの方針では、アナリスト、アナリスト監督下の社員、及びそれらの家族は、当該アナリストの担当カバレッジに属するいずれの企業の証券を保有することも、当該企業の、取締役、執行役又は顧問等の任務を担うことも禁じられています。また、リサーチレポート作成に関与し未公表レポートの公表日時・内容を知っている者は、当該リサーチレポートの受領対象者が当該リサーチレポートの内容に基づいて行動を起こす合理的な機会を得るまで、当該リサーチに関連する金融商品(又は全金融商品)を個人的に取引することを禁じられています。

アナリストの報酬の一部は、投資銀行業務収入を含むMUMSSの収益に基づき支払われます。

MUMSS及びその関連会社等は、本レポートに記載された会社が発行したその他の経済的持分又はその他の商品を保有することがあります。MUMSS及びその関連会社等は、それらの経済的持分又は商品についての売り又は買いのポジションを有することがあります。

MUMSS・その他MUFJ関連会社、又はこれらの役員、提携者、関係者及び社員は、本レポートに言及された証券、同証券の派生商品及び本レポートに記載された企業によって発行されたその他証券を、自己の勘定もしくは他人の勘定で取引もしくは保有したり、本レポートで示された投資判断に反する取引を行ったり、マーケットメーカーとなったり、又は当該証券の発行体やその関連会社に幅広い金融サービスを提供しもしくは同サービスの提供を図ることがあります。

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

MUMSS の役員（以下、会社法（平成 17 年法律第 86 号）に規定する取締役、執行役、又は監査役又はこれらに準ずる者をいう）は、次の会社の役員を兼任しています：三菱UFJフィナンシャル・グループ、カブドットコム証券、三菱倉庫。

### 免責事項

本レポートは、MUMSS が、本レポートを受領される MUMSS 及びその関連会社等のお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買の推奨あるいは特定の証券取引の勧誘、申込みを目的としたものではありません。

本レポート内で MUMSS に言及した全ての記述は、公的に入手可能な情報のみに基づいたものです。

本レポートの作成者は、インサイダー情報を使用することはもとより、当該情報を入力することも禁じられています。MUMSS は株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「MUFG」)の子会社等であり、MUMSS の方針に基づき、MUFG については投資判断の対象としておりません。

本レポートは、MUMSS が公的に入手可能な情報のみに基づき作成されたものです。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性、信頼性が客観的に検証されているものではありません。本レポートはお客様が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。また、MUMSS 及びその関連会社等は本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、また、MUMSS は本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について当社は一切責任を負いません。

当社は、本レポートの論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する場合があります。また、MUMSS は関連会社等と完全に独立してレポートを作成しています。そのため、本レポート中の意見、見解、見直し、評価及び目標株価は、異なる情報源及び方法に基づき関連会社等が別途作成するレポートに示されるものと乖離する場合があります。

本レポートで直接あるいは間接に採り上げられている有価証券は、価格の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがあります。また、投資等に関するアドバイスを含まれておりません。本レポートにて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。お客様は、独自に特定の投資及び戦略を評価し、本レポートに記載されている証券に関して投資・取引を行う際には、専門家及びファイナンシャル・アドバイザーに法律・ビジネス・金融・税金その他についてご相談ください。

MUMSS 及びその関連会社等は、お客様が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる結果のいかなるもの（直接・間接の損失、逸失利益及び損害を含むがこれらに限られない）についても一切責任を負わないと共に、本レポートを直接・間接的に受領するいかなる投資家に対しても法的責任を負うものではありません。

本レポートの利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、又は保証するものではありません。特に記載のない限り、将来のパフォーマンスの予想はアナリストが適切と判断した材料に基づくアナリストの予想であり、実際のパフォーマンスとは異なることがあります。従って、将来のパフォーマンスについては明示又は黙示を問わずこれを保証するものではありません。

本レポートの利用に際しては、上記の一つ又は全ての要因あるいはその他の要因により現実的もしくは潜在的な利益相反が起こりうることをご認識ください。なお、MUMSS は、会社法第 135 条の規定により自己の勘定で MUFG 株式の売買を行うことを禁止されています。

本レポートで言及されている証券等は、いかなる地域においても、またいかなる投資家層に対しても販売可能とは限りません。本レポートの配布及び使用は、レポートの配布・発行・入手可能性・使用が法令又は規則に反する、地方・州・国やその他地域の市民・国民、居住者又はこれらの地域に所在する者もしくは法人を、対象とするものではありません。

**英国及び欧州経済地域:** 本レポートが英国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities EMEA plc (以下「MUS(EMEA)」。電話番号: +44-207-628-5555)により配布されます。MUS(EMEA)は、英国で登録されており、Prudential Regulation Authority (ブルーデンス規制機構、「PRA」)の認可及び Financial Conduct Authority (金融行動監視機構、以下「FCA」)と PRA の規制を受けています(FS Registration Number 124512)。本レポートは、professional client (プロ投資家)又は eligible counterparty (適格カウンターパーティー)向けに作成されたものであり、FCA 規則に定義された retail clients (リテール投資家)を対象としたものではありませんので、誤解を回避するため、同定義に該当する顧客に交付されるべきではありません。MUS(EMEA)は、本レポートを英国以外の欧州連合加盟国においても professional investors (若しくはこれと同等の投資家)に配布する場合があります。本レポートは、MUS(EMEA)の組織上・管理上の利益相反管理制度に基づいて作成されています。同制度には投資リサーチに関わる利益相反を回避する目的で、情報の遮断や個人的な取引・勧誘の制限等のガイドラインが含まれています。本レポートはルクセンブルク向けに配布することを意図したものではありません。

**米国:** 本レポートは Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. (以下「MUMSS」)によって作成されたものです。MUMSS は日本で証券業務の認可を取得しております。本レポートが米国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities Americas Inc. (以下「MUS(USA)」。電話番号: +1-212-405-7000)により配布されます。MUS(USA)は、United States Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会)に登録された broker-dealer (ブローカー・ディーラー)であり、Financial Industry Regulatory Authority (金融取引業規制機構、「FINRA」)による規制を受けています (SEC# 8-43026; CRD# 19685)。本レポートが MUS(USA)の米国外の関連会社等により米国内へ配布される場合、本レポートの配布対象者は、1934 年米国証券取引所法の規

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

則 15a-6 に基づく major U.S. institutional investors (主要米国機関投資家) に限定されております。本レポートは証券の売買及びその他金融商品への投資等の勧誘を目的としたものではありません。また、いかなる投資・取引についてもいかなる約束をもするものでもありません。本レポートが米国で大手機関投資家以外の個人に配布される限りにおいて、MUS(USA) は以下の条件のもとでその内容について責任を負っています。本レポートの執筆者であるアナリストは、リサーチアナリストとして FINRA への登録ないし FINRA の資格取得を行っておらず、MUS(USA) の関係者ではない場合があります。したがって、調査対象企業とのコミュニケーション、パブリックアピランス、アナリスト本人の売買口座に関する FINRA の規制に該当しない場合があります。FLOES は MUS(USA) の登録商標です。

IRS Circular 230 Disclosure (米国内国歳入庁 回示 230 に基づく開示) : MUS(USA) は税金に関するアドバイスの提供は行っていません。本レポート内 (添付文書を含む) の税金に関する記述は MUS(USA) 及び関連会社以外の個人・法人が本レポートにおいて研究する事項に関する勧誘・推奨を行う目的、又は米国納税義務違反による処罰を回避する目的で使用することを意図したのではなく、これらを目的とした使用を認めておりません。

**日本:** 本レポートが日本において配布される場合、その配布は MUFG のグループ会社であり、金融庁に登録された金融商品取引業者である MUMSS (電話番号 : 03-6742-4550) が行います。

**シンガポール:** 本レポートがシンガポールにおいて配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities Asia (Singapore) Limited (以下「MUS(SPR)」)。電話番号 : +65-6232-7784) とのアレンジに基づき配布されます。MUS(SPR) はシンガポール政府の承認を受けた merchant bank であり、Monetary Authority of Singapore (シンガポール金融管理局) の規制を受けています。本レポートの配布対象者は、Financial Advisers Regulation の Regulation 2 に規定される institutional investors、accredited investors、expert investors に限定されます。本レポートは、これらの投資家のみによる使用を目的としており、それ以外の者に対して配布、転送、交付、頒布されてはなりません。本レポートが accredited investors 及び expert investors に配布される場合、MUS(SPR) は Financial Advisers Act の次の事項を含む一定の事項の遵守義務を免除されます。第 25 条 : 一定の投資商品に関してファイナンシャル・アドバイザーが全ての重要情報を開示する義務、第 27 条 : ファイナンシャル・アドバイザーが合理的な根拠に基づいて投資の推奨を行う義務、第 36 条 : ファイナンシャル・アドバイザーが投資の推奨を行う証券に対して保有する権利等について開示する義務。本レポートを受領されたお客様で、本レポートから又は本レポートに関連して生じた問題にお気づきの方は、MUS(SPR) にご連絡ください。

**香港:** 本レポートが香港において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities Asia Limited (以下「MUS(HK)」)。電話番号 : +852-2860-1500) とのアレンジに基づき配布されます。MUS(HK) は Hong Kong Securities and Futures Ordinance に基づいた認可、及び Securities and Futures Commission (香港証券先物取引委員会 ; Central Entity Number AAA889) の規制を受けています。本レポートは Securities and Futures Ordinance により定義される professional investor を配布対象として作成されたものであり、この定義に該当しない顧客に配布されてはならないものです。

**その他の地域:** 本レポートがオーストラリアにおいて配布される場合、MUS(HK) 又は MUS(SPR) により配布されています。MUS(HK) は Australian Securities and Investment Commission (ASIC) Class Order Exemption CO 03/1103 に基づき、Corporations Act 2001 が定める金融サービスの提供者によるオーストラリア金融業免許の保有義務を免除されています。MUS(SPR) は ASIC Class Order Exemption CO 03/1102 により同様に義務を免除されています。本レポートはオーストラリアの Corporations Act 2001 に定義される wholesale client のみを配布対象としております。本レポートがカナダにおいて配布される場合、本レポートは MUS(EMEA) 又は MUS(USA) により配布されます。MUS(EMEA) および MUS(USA) は international dealer exemption の措置により次の各州において金融取引業者としての登録を免除されています : アルバータ州、ケベック州、オンタリオ州、ブリティッシュ・コロンビア州、マニトバ州 (MUS(EMEA) のみ)。本レポートはカナダにおける National Instrument 31-103 によって定義された permitted client のみを配布対象としております。

又は本レポートは、インドネシアにおいて複製・発行・配布されてはなりません。また中国 (中華人民共和国「PRC」を意味し、PRC の香港特別行政区・マカオ特別行政区、及び台湾を除く) において、複製・発行・配布されてはなりません (ただし、PRC の適用法令に準拠する場合を除きます)。

本レポートは、米国、日本やその他の証券規制法規により配付を制限されている投資家、および個人投資家を対象にしたものではありません。

債券取引には別途手数料はかかりません。手数料相当額はお客様にご提示申し上げる価格に含まれております。

Copyright © 2016 Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. All rights reserved.

本レポートは MUMSS の著作物であり、著作権法により保護されております。MUMSS の書面による事前の承諾なく、本レポートの全部もしくは一部を変更、複製・再配布し、もしくは直接的又は間接的に第三者に交付することはできません。

〒100-8127 東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 2 号 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ  
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 リサーチ部

(商号) 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2336号

(加入協会) 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。